

令和5年度 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価

作成日	
法人名	園名
学校法人 栗田学園	幼保連携型認定こども園ふじみ幼稚園

まとめ 全体平均 4.69

第2章第2節 乳児期の園児の保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの安全に関しては、敏感に情報を取り入れている。チェック表や、ベビーセンサーを使用したり、声を掛け合ったりして、自園なりに事故防止に努めている。事故やトラブル、ヒヤリハットがあった時は終礼などで報告し、情報共有した上で、改善し、再発防止に務めている。</li> <li>子ども一人一人の家庭の状況も考慮しながら、日々保育をしている。</li> <li>クラス担任以外の教職員も、子どもの名前を覚えて関わっている。</li> </ul>
第2章第3節 満1歳以上満3歳未満の園児の保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣、生活リズム、個の成長等、保護者の相談にのるだけでなく、園としても子育てに関する情報を発信し、子どもを通して、子育てと一緒に考えていけるような対応をしている。</li> <li>自立に向かって、生活の中で伸び伸びと過ごせるようにしている。</li> </ul> <p>評(A)・発表会の時も、先生たちの姿を見て楽しく動いていた。外に出て行っちゃう子ども、先生の中で共有されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手遊びや読み聞かせの時も先生の所に集まってきていて、生活習慣が身に着いているのではないかなと思う。</li> </ul>
第2章第4節 満3歳以上の園児の教育及び保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>成長の中で、人との関わりを求め始め、友だちや保育者との関りが増えてくる時期。お互いの気持ちを知りながら、調整できるよう保育をしている。</li> <li>個を大切に、自分の思いを伝えたり、表現したりできるように援助している。</li> </ul> <p>評(A)・先生たちの声かけや保育で友達の名前や、手遊び、歌を覚え、家庭でもしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>物の取り合いの時に、譲り合っている姿も見られ、以前より穏やかさを感じる。</li> </ul> <p>園の体制として、乳児さんからの環境構成上、一人一個遊ぶものがあるような状況にはある。種類が多く、自分で色々な選択が</p>
第2章第5節 教育及び保育の実践に関わる配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な家庭の状況や、個の成長発達に合わせて、対応するよう配慮している。</li> <li>どの子にも人権はあり、保護者から大切なお子さんをお預かりしている気持ちを忘れないようにしている。</li> <li>その子の先的人生を見通した保育を考えている。</li> </ul> <p>評(A)・一人一人の発達や状況に応じて対応している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外国籍の家庭に対して、各家庭の母語は家庭で使ってもらい、園では日本語を使う。一緒に子どもを見ていきたいと思ってい</li> </ul>
第3章 健康及び安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者から来る毎朝の健康観察があることで、子どもの様子を家庭から引き継いでみる事ができるようになった。子どもの体調変化にすぐに対応できるようにしている。</li> <li>栄養士さんと協力して、日常の給食からも食に対する意欲が得られるようにしている。</li> <li>防災に関しても、様々なシチュエーションで行うことで、訓練時に、教職員も含め、子どもたち自身で考えて行動できるようになってきている。</li> </ul> <p>評(A)・実地でも、実際に地震が発生したときに、まじり避難が早くも、園での訓練が生きていてと感じ、口中国にいた事が</p>
第4章 子育ての支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>わからないことがあれば専門家に相談したり、必要があれば、他施設とも連携し、保護者・子育て支援をしている。園で対応できないことは、保護者が他施設と繋がれるようにしている。情報提供はするが、保護者の気持ちを大切にし、一緒に考えるようにしている。</li> <li>未就園児の会で、保護者の話を聞いたり、子育ての豆知識的なことを発信している。</li> </ul>
第5章 職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員も、自身の資質向上の意欲をもって研修に取り組み、自園に取り入れられるよう園内研修を行っている。</li> <li>乳児担当の職員の希望から、乳児クラスの研修を増やした。</li> <li>研修で学んだことを自分のものにし、保育の中に取り入れようとしている。</li> </ul> <p>・週の 中で、各部で会合を設け、日常保育について話し合っている。</p>
総合	<p>コロナ前の日常保育にほぼ戻りましたが、新たな課題が生まれ、模索しながら、保育も園としての体制も職員で話し合っ改善している。「保育者として質をあげたい」、「子どもたちを、安心安全に、のびのびと育てたい」という気持ちは共通して持っているので、今の時代にあった保育をみつめていきたい。</p> <p>&lt;評議員より&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>将来的に、保育の資質向上や勤務体制等様々な面で、自分達が満足していけるようにしたい。</li> <li>保育参観や行事など、園に保護者が来てくれる機会も増えているが、先生たちが努力していることが伝わっていない保護者の</li> </ul>

内容	項目数	平均
「乳児保育」	15	4.87
「3歳未満児保育」	32	4.50
「3歳以上児保育」	53	4.64
「教育保育の配慮事項」	16	4.75
「健康・安全」	28	4.82
「子育ての支援」	17	4.71
「職員の資質向上」	9	4.89
計	170	4.69

